

「赤い羽根 子どもと家族の緊急支援 全国キャンペーン」助成決定団体一覧

北海道共同募金会

令和2年 11月 現在

No.	団体名	住所	決定内容		
			活動名称	活動概要	助成額
1	特定非営利活動法人 寺子屋こどもの未来	北海道苫小牧市	コロナ緊急対策苫小牧市 在住未就学児・小中学生 「食事支援、学習支援事業」	1) 食事提供活動：平時、月1回賃借していた日新町内会館が3月からコロナで閉鎖され、給食困窮児童や食費増大家庭への支援（近隣柏木町のお寺（秀恩寺）の厨房と駐車場を借りてドライブスルー方式の食事提供）。 2) 学習支援、ストレス発散活動：苫小牧市有明町の当役員が不登校児童のフリースクールとして、開設準備していた場所（いぶり勸学館）で、学習支援や運動（卓球台、野外でバスケット可能）、子供向け書籍、海の見える眺望、親子が和める場所を3密に配慮して予約対応。地元新聞、SNSで告知。学習支援は主に高専生に謝金を払って対応。	113000
2	WEWとかち	北海道帯広市	高堂建設×おびひろ 子ども食堂 子どもエール弁当配布	帯広市は子ども食堂への支援や助成はなく、そのため困窮家族や一人親等の行政の情報を得ることは難しい。またそのような枠にとらわれず、子育てには苦労が付きものであるし、虐待の発生は限定的な家庭ばかりではない。5月の学校休業中の弁当配布について帯広市の企業が弁当の提供を申し出てくれるというありがたいチャンスを有効に使わせていただき、月曜日～土曜日まで毎日15個限定「子どもエール弁当」と名付けて子どもに弁当を配布する活動をする。弁当は地域の飲食店にお願いして、コロナ禍による事業者支援もしていきたい。弁当の配布は、ただ単に弁当を支援することが目的ではなく「つながり」の継続である。弁当を取りに来てボランティアと会話しストレスを発散したり、久しぶりの子どもたちの笑顔に出会えたり、学校休業中の様子を聞いたり、と、「つながり」によって安心な居場所が提供できるようにする。	200000
3	一般社団法人 苫小牧風花の会	北海道苫小牧市	市内に居住するひとり親 家庭及び寡婦の福祉の増 進活動	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、マスクが品薄状態である昨今、ひとり親家庭は特に入手困難であると考え、当会会員寡婦の方々に声掛けをし、外出自粛生活の中でマスクを製作していただき、学習塾参加生徒には開塾時に、会員の子どもたちには会員宛にお知らせの手紙を郵送し、事務局が窓口となりお渡ししています。	20000
4	ひまわり食堂足寄	北海道足寄町	これまでの参加者全員に お弁当の配布	3密を避ける為に3月・4月・5月と食堂が開催できず、また施設も閉鎖中で再開もできない為、ひまわり食堂へ参加している大人と子供に対して、6月は、業者が作る弁当をスタッフが配達したい。また今まで集まっているフードバンクの品を参加者全員に配布したい。	82000
5	NPO法人 木と風の香り	北海道苫小牧市	まいにち、ごはんセット 配布	休校になり、給食をたよりにしていた3食まともに食べていない子たちへの食事支援、および、全子育て世帯へ食品を配布することによる子育て負担の軽減、生活苦による精神的追い込みから起こる虐待予防が目的。パン、おにぎり、粉スープ、お菓子のセットを木と風の香りカフェ（法人事務所裏庭）にて配布。	200000
6	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ室 蘭事務所	北海道室蘭市	1人親世帯の子どもへの 食材支援活動	ひとり親世帯の子どもに食材を宅配便で提供します。対象地域は白老町、壮瞥町、洞爺湖町、豊浦町で町役場と連携してひとり親世帯への本施策お知らせのチラシを郵送していただき、希望者に食材をお届けします。ご提供する食材は道社協様の仲介でセブーンイレブン・ジャパン様からご提供いただいた缶詰とフードバンクいぶりの在庫食材を詰め合わせます。	195000
7	ワーカーズコープ フードバンクとまこ まい	北海道苫小牧市	フードバンクとまこまい （お弁当宅配、フードパ ントリー）	フードバンク；食品ロスが増え、集配業務が激増。本来こちらから提供元へ取りに行くことはしていなかったが、需要も供給も増えている為、現在は行っている。 フードパントリー：当団体拠点前に常設（平日毎日）。及び他団体や児童館などと連携し、小学校区の徒歩圏内に一か所の拠点を目標に、イベント的に行う予定で調整中。また母子家庭で取りに来る手段がなかったり、お仕事等で来れない方は配送で対応。	200000
8	みんなで食べよう おうちごはん	北海道幕別町	みんなで食べよう おうちごはん	子どもを対象（高校生まで）として、お弁当を配布。コロナの為3.4月と開催できませんでした。本来であれば会場にてみんなで楽しく食事するのですが、今後も見通しが立たない為。地元飲食店にお弁当を作ってもらい配布をする。	40000

No.	団体名	住所	決定内容		助成額
			活動名称	活動概要	
9	ボランティア団体 おとふけポッケ	北海道河東郡	子ども食堂共栄 おとふけポッケ	共働き家庭やひとり親の家庭が多い地域であることから、安心できる日中の子どもの居場所として展開する。当初4月12日スタートする予定で準備していたが、新型コロナウイルスの関係で活動中止となっていた。改めて7月26日に活動スタートを予定し、子どもたちと昼食を囲んでお話しや遊びを通じて交流を考えている。 ・毎月第2日曜日、11時～14時 ・会場は、音更町共栄コミュニティセンター ・小～高校生は無料、大人は200円負担	19,000
10	社会福祉法人 地域で一緒に暮らそう会	北海道河東郡	ふれあい食堂 きらきはうす	地元の小中学生を対象に、希望者を募って、毎月1回、昼食の提供とレクリエーション活動を行っている。小中学生は無料、付き添いの保護者は200円。 昼食の内容は様々だが、今回、コンベクションオープンを購入し、小スペースでも手軽に、焼き立てのパンを提供できるようにし、利用される方の交流はもちろんのこと、地域社会に貢献していきたい。	200,000
11	ひまわり食堂足寄	北海道足寄郡	これまでの参加者全員にお弁当の配布	3密を避ける為に3月・4月・5月と食堂が開催できず、また施設も閉鎖中で再開もできない為、ひまわり食堂へ参加している大人と子供に対して、6月は、業者が作る弁当をスタッフが配達したい。また今まで集まっているフードバンクの品を参加者全員に配布したい。	96,000
12	特定非営利活動法人 たすけ愛ふくろう清田	北海道札幌市	「ひらおか子ども食堂」 (ふらっと) コロナ対策 でテイクアウトお弁当配布と、夏休み自由研究材料提供、寄贈菓子配布	子ども食堂に参加したことのある子ども、これから来てみたい子どもたちに、告知チラシを小学校5校への全校配布、新聞折込みでお知らせする。 7月17日(金)夕方、夏休みに向けて食事と自由研究材料を提供し、各社から寄贈された菓子、グッズ等をプレゼント、子どもたちの笑顔と歓声を取り戻したい。	200,000
13	こども食堂「おいでや」実行委員会	北海道苫小牧市	地域の子どもたちが安心して集い、遊び、食事のできる子どもたちのための居場所づくり	教会の建物を利用して、地域の子どもたちに遊びの場と食事を無料で提供している。遊びについては、毎回工夫をしながら、子どもの遊びのサポートをしており、食事は、バイキング形式で、いろいろな料理を自由に選べるようにしている。	50,000
14	特定非営利活動法人 子ども総合支援ネットワーク	北海道苫小牧市	自然体験宿泊学習	不登校の児童生徒（小学生～高校生）を対象にして、北海道立青少年体験活動支援施設にて自然体験を中心とした宿泊学習を行う。土器づくりを通じた歴史体験、森の中のハイキングでの体力づくりと環境教育、共同作業や共同生活を行うことで、彼らが最も苦手とするコミュニケーション力を養うための活動を行う。	155,000
15	一般社団法人 苫小牧風花の会	北海道苫小牧市	市内に居住するひとり親家庭及び寡婦の福祉の増進活動	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、マスクが品薄状態である昨今、ひとり親家庭は特に入手困難であると考え、当会会員寡婦の方々に声掛けをし、外出自粛生活の中でマスクを製作していただき、学習塾参加生徒には開塾時に、会員の子どもたちには会員宛にお知らせの手紙を郵送し、事務局が窓口となりお渡ししています。	20,000
16	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ室蘭事務所	北海道室蘭市	厚真町、安平町、むかわ町の1人親世帯の子どもなどへの食材支援活動	ひとり親世帯の子どもに食材を宅配便で提供します。 対象地域は厚真町、安平町、むかわ町で町役場と連携してひとり親世帯への本施策お知らせのチラシを郵送して頂き、希望者に食材をお届けします。 ご提供する食材は道社協様の仲介でセブン-イレブン・ジャパン様からご提供いただいた缶詰と本助成金で購入する食材を詰め合わせます。	197,000

※ 令和3年3月5日修正更新